

令和3年度 第4回協働のまちづくり推進委員会 会議録

日時	令和3年10月15日（金）13：30～15：50
場所	すこやかセンター2階会議室1
出席委員	小出会長、清水副会長、小川副会長、新委員、北崎委員、岩澤委員、川野委員、高山委員、柳田委員、石井委員
欠席委員	秋葉委員、岡委員
事務局	市民活動推進課 林田課長、佐藤副主幹、大木、岩井 まちづくりコーディネーター 飛ヶ谷
説明員	広報情報課 枝村課長、上野主査
傍聴者	なし

[会議次第]

1 開 会

2 会長挨拶

3 議 題

- (1) 第2次協働のまちづくり推進計画（改訂案）について
- (2) その他

4 そ の 他

- (1) 実施事業について
- (2) とみさと市民活動サポートセンターについて
- (3) その他

5 閉 会

[会議概要]

	<p>次第3 議題</p> <p>－「協働のまちづくり推進委員会の運営に関する要綱」第3条第1項により、小出会長が議事の進行を務める－</p>
会長	<p>(1) 第2次協働のまちづくり推進計画（改訂案）について それでは（1）第2次協働のまちづくり推進計画（改訂案）に対する意見等について、事務局から説明をお願いします。</p>
	<p>－事務局より説明－</p>
事務局	<p>本日は、広報情報課より、第2次協働のまちづくり推進計画（改訂案）に事業を追加したいとの申出がございましたので、担当課より事業の説明をさせていただきます。</p>
	<p>－広報情報課より説明－</p>
事務局	<p>ありがとうございました。 本日は、委員の皆様で、資料1の「第2次協働のまちづくり推進計画（改訂案）」について、御協議いただきたいと思います。</p>
会長	<p>ただ今、事務局から説明がございました。 皆さんの意見をお聞かせください。御発言される場合は、挙手願います。</p>
A 委員	<p>資料のほうは拝見した。 量が多いので、テーマを絞らないと議論がうまくいかない。 色々気になることは書いてみたが、ひとつずつやっていては時間が足りないので、テーマを絞ってやつたらどうか。</p>
会長	<p>今の御提案はどうでしょうか。</p>
B 委員	<p>提案には賛成であるが、この議題では、何を言えばいいか分からず、何を聞かれているか分からず。 具体的に何について意見をくださいというような形で出されれば、その部分に着目して読み込めた。資料をいただいて、どう</p>

	<p>いう目線でこれを見たらいいのか、どれについてどんな意見を言えばいいのか。質問されることによって、意識を持って答えようとする。なのでテーマを絞ることや、何を聞かれていて、何をゴールにしているかを明確にすることが大事ではないか。</p>
会長	<p>事務局から説明があったが、前回までの委員の意見を踏まえて推進計画に修正を加えた。計画にその意見が反映されたものかどうかについて意見をいただきたい。最終的には委員会で採択し、了承するような形になる。</p> <p>前回出した意見が取り入れられてないのであればそれも議論になるが、テーマを絞るにも、そのテーマをどうするかの提案がなければ難しい。</p>
C 委員	<p>意見として具体的なテーマがないと、意見を言うことが難しいとあったが、その通りだと思う。</p> <p>だが何年も携わってみて思うのが、このような計画書は文言が専門的であり、意見の言いようがない。</p> <p>これは何のためにあるのかと言うと、議会を通して予算を獲得するという一つの目的がある。だから、作らないといけない。</p> <p>テーマを絞るだとか、中身に対する議論については、会議の中で総意を得た上で、取り上げて議論の場を設けたほうがいい。</p> <p>会議の回数も限られている。有志で集まり、議論することはできる。そういうことをやっていくには、別の次元でやっていかなければいけない。</p> <p>会議に課されている責任があり、それは限られた時間の中でこなして、決めていかなければいけない。</p> <p>ボランティア手帳の話し合いの時は、有志の人たちで議論した。そういうことをやっていくと意見がまとまっていく。</p> <p>この会議の中での議論には、限界があるということは理解していただきたい。</p>
D 委員	<p>令和3年度は試行期間とあり、令和4年度から実施とあるが、そのほとんどが前回の計画の大半を占めている。新規にやる項目もあるが、この試行期間ではどういうことをやっていくのか。</p>
会長	第1次の計画は、令和2年度で終わった。市の総合計画が令和4

	<p>年度に出されるということで、それに合わせるとなると 1 年間がブランクになってしまう。令和 4 年度の実施に向けてつなげていくという意味で、今年度を試行期間とした。</p> <p>よって新規の事業も試行期間で実施しているものもある。計画がなければ勝手にはできない。令和 4 年度へつなぐ期間が今年度である。</p> <p>先行実施したものの反省や、計画への意見を反映できるよう、こうして委員会にかけて議論している。</p> <p>第一次計画では、このようなことは実施していない。</p> <p>試行期間があることで、再度皆さんに意見をいただきて、府内で協議して、議会に出し、承認を得る形になる。</p>
D 委員	<p>計画の中身や内容は、何年もやっている委員なら分かると思うが、新規の委員はすぐに理解はできないのではないか。</p> <p>新規の計画にだけ着目したほうがいいのではないか。</p>
C 委員	有識者の意見を聞いて、考えてみてはどうか。
E 委員	<p>令和 3 年度の試行期間というものに、積極的な意味はないと思うが、総合計画というものが富里市の一一番上位計画にあたるので、その大きな節目に実施時期を合わせたと理解している。</p> <p>令和 4 年度から始まるものが、まったく新しいものではなくて、今までの実施されてきた計画の改訂版となっている。この部分についての検討は、私たちの委員会ではなくて、推進計画検討委員会で議論してきた。</p> <p>この推進委員会では何も知らないで議論するのかということではなく、今までの実績も踏まえつつ、事業を認めていき、内容によっては、議論の上で修正を加えていくことができる。</p> <p>具体的に何をやるのか、具体的な成果はどうだったかなど、活動の成果は、この後実績が出てきた中で、推進委員会に問われてくる。そのような流れだと私は理解している。</p> <p>全てこの委員会に権限があるわけではなくて、そのような土俵の上で議論する場が用意されているということである。</p>
会長	条例に基づき推進計画が作られている。その計画は 10 年間のもので、前期と後期 5 年で分けて、令和 2 年度に後期が終了となる

	<p>を踏まえ、昨年度市長から委嘱を受け推進計画検討委員会が組織され、1年間かけ、テーマごとにワークショップなど取入れ議論して、出来上がったものである。</p> <p>今回は試行期間というものもあって、事務局のほうでは、推進委員の皆さんに、この第2次推進計画について御意見をいただきたいということで、議題となっている。</p> <p>この計画をこの委員会で一から考えるわけではない。</p> <p>検討委員会で考えられたものについて、理解できる部分、改良を加える部分があるのか、効果を考え、意見としていただければと思う。</p>
B 委員	<p>この計画に対して意見を言っていくことは理解した。</p> <p>協働のまちづくりをするための考えを受け、その協働のまちづくりをするためにはどうしたらいいかという意見を考えてきていた。</p> <p>この委員会はこの計画についてだけ協議し、成果を出さなければいけないのか。</p>
会長	<p>色々な議題を協議していて、我々の役割は規定にも盛り込まれている。この計画のためだけではない。</p>
E 委員	<p>議題をどう設定するかだと思う。今回は計画という大きな議題であった。具体的なテーマもありうるので、そういう設定も可能なのか。</p>
C 委員	<p>市のほうからあらかじめ議題が挙げられている。その与えられたものについて議論してきた。B 委員の言う、「議論したい、意見交換したい」ということについて、会議に提案ができるのかを投げかけているのではないか。そういうことができないのであれば、できない中でやるしかない。</p> <p>言おうとしていることは、富里市をより良くしたいというものであると思う。</p> <p>その意見を取り上げるためには手続きが必要であって、それはどういう風にやれば、その形ができるのか。</p> <p>そういったことを市のほうに決めてもらいたいということだと思う。</p>

事務局	<p>条例の解説付きというものを以前配布させていただいているが、こちらの中に推進委員会の記載がある。</p> <p>事前に委員会の目的や、どういうことを進めていくのかは説明会で触れさせてもらっているが、こちらにはなぜ委員会が作られているかについて記載がある。</p> <p>「市長は、この条例の実効性を高めるため、地方自治法第138条の4第3項の規定に基づき、富里市協働のまちづくり推進委員会を設置する。」とある。</p> <p>現在は推進計画についてを協議として会議をしているが、そもそも委員会の設置の目的が、条例の施行後、その目的が実現されているか、計画が計画通りに行われているか、進捗はどうかを検証したり、条文の趣旨に沿って運用がされているかどうかなどである。</p> <p>その実効性の確保という部分で、市だけでは検証が難しいため、執行機関の付属機関として、委員会を設置している。</p> <p>皆さんに検証をしていただく場であるが、協働のまちづくりを市民と市と一緒に進めていこうというものである。</p> <p>なので意見が述べられないということではなく、意見を言つていただく場所もある。</p> <p>推進計画という、皆さんのが委員として関わる前に作られたものに対して何を言えばいいのかという意見は当然だとは思う。</p> <p>事務局として意見をいただきたいところは、色々意見をいただいた中で、現段階で含められるものは文言を変えたり、数値目標の修正を加えたりしたものに対して、もう少しこうしたらしいとか、この数値目標は増やすべき、減らすべきだとか、そういう部分についてである。</p> <p>内容に修正を加える事は難しいので、指標となる部分で、意見をいただければと思う。</p> <p>条文にある通り、積極的な意見を言う場であることは間違いないなく、意見を言えないということではないということは御理解いただきたい。</p> <p>一委員了承一</p>
会長	先に広報情報課の提案に対して、意見や質問があればお願いします。

F 委員	応援してくれる方とあるが、どのような方をイメージしていて、この目標値となっているのか。
広報情報課	<p>想定としては、シートの対象者に明記させていただいている。市内外問わず、色々な方に御協力いただければと考えている。</p> <p>指標の中の数値の設定には、明確な積算根拠はない。先ほど現状と課題の中で、市民意識調査結果の市への愛着、魅力を感じている割合を申した。具体的に愛着を持っている方で、強く持っているという方は全体の8パーセントであった。</p> <p>それに加え指標として用いたのが、令和2年度のふるさと応援寄附金、ふるさと納税である。実績としては約800件。</p> <p>人口の中の8パーセントプラス800件という部分。</p> <p>もう一つは、富里スイカロードレース大会の参加希望者数が約13,000人。</p> <p>そういった諸々の数字を勘案して、目標とする数値を設定した。</p>
C 委員	<p>市外からも応援してくれるという部分は重要なポイントだと思う。市の外から見てくれる人のほうが、良さを発掘してくれると思う。外から見て魅力を感じることがあるということだと思う。</p> <p>このようなアプローチで新しいアイデアを取り入れながら、頑張っていただきたい。</p>
G 委員	市民に限らず市外在住者はスイカロードレース大会参加者や、ふるさと納税した方を対象とする解釈でいいか。
広報情報課	あくまでスイカロードレース大会参加者やふるさと納税者数は、指標を設定する上で参考にしたものである。
G 委員	応援してくれることによってどうなるのか。この事業の最終的なゴールはどうなるのか。
広報情報課	<p>市の最上位計画の総合計画が、令和4年度から10年間の期間で作られる予定である。予算を通しての具体的な事業というものが、政策実行計画である。その事業を提案している段階である。</p> <p>その提案した事業を見据えた指標であるので、具体的な内容は予算が付いていない段階では、お答えできない。</p>

	<p>指標に基づく事業については、担当から提案し、内部の組織で検討してもらう予定である。</p> <p>ただ、検討している中で、その事業が完全に駄目になるのか、事業を縮小して行うようになるのか、現時点では分からない。</p> <p>なので、先走りし過ぎた事業提案かもしれないが、具体的に申し上げられない部分については御了承願いたい。</p>
G 委員	<p>10,000人になつたらどういう風になるのか、イメージを知りたい。</p>
広報情報課	<p>一義的には、意識調査で半数は魅力を感じていない。そうなると、人口減少が進行していく。これからは人口の取り合いが激化する。</p> <p>その中で関心を持ってもらう、愛着を持ってもらうことでUターンやIターンに繋がるのではないかと考えている。</p> <p>その目標が全て定住に繋がるかは分からぬが、人口の維持をしなければ、行政の維持はできない。富里に住んでいただきたいという思いが信念にありながらも、まずは魅力を感じていただきたいという思いで、10,000人を目指したいと考える。</p>
B 委員	<p>情報発信というものは、相手に届いて初めて意味を成すもの。広報紙、ホームページ、SNSも興味を持った人が見るもの。いくら頑張っても、知られないと見ないものは、情報として届かない。</p> <p>市民に愛着を持ってもらうために魅力を発信するといった時にどう見てもらうか、そういう工夫や他のツールの検討はされているのか。</p>
広報情報課	<p>現在のツールとしては、広報紙、HP、SNS、公式LINEなどがある。それ以外のツールについては、現在事業提案させていただいている。そういうものを実行して、計画に定める指標を達成していきたい。</p> <p>事業を行つたものについては毎年度評価をして、評価に基づき事業の見直しを行つてはいる。今あるツールについても毎年見直しを行いながら、前へ進めていければと考えている。</p>
会長	<p>現在は事業提案している段階で、この事業については今後具体的に確定していくものだと思う。</p>

	その際に何か提案や御意見があれば意見をいただければと思う。
E 委員	推進計画に載り、事業が実施され、評価をされていくという流れであると思うが、今日の話では指標が何かということが分からない。具体的な数字が出てきた時に、この委員会で評価ができるのか難しいと感じた。協働のまちづくりの中の事業として位置づくということなので、焦点、ポイントとしては、魅力発信に協力してくれる人を増やすことだと思う。そこの指標の取り方については、もう少し検討していただければと思う。
広報情報課	指標に責任を持って事業を進めていきたいと思う。
D 委員	関係課が色々載っているが、なぜ道の駅を考えないのか。この数字はそのようなものがあれば簡単にクリアできる。
広報情報課	直接の担当課ではないが、旧岩崎末廣別邸の隣接地に観光交流拠点のオープンを目指している。 商工観光課を関係する部署にしたのは、商工会やその観光交流拠点と接点を持たせるためであり、農政課については富里市農協や農家、生涯学習課については、生涯学習という一つの枠組みの中で様々な団体がある。そういう方々を巻き込んで、協力いただきながら関係部署として一緒に進めていきたいと考える。
D 委員	酒々井は、アウトレットがあることで潤っている。 富里もそういうものがあれば簡単に課題がクリアできる。
C 委員	この部分についてパブリックコメントはあるのか。
広報情報課	一つの事業として考えているため、予定はない。
事務局	推進計画に載っている事業なので、推進計画はパブリックコメントがあるので、そこで御確認いただき御意見をいただければと思う。
会長	皆様の意見を精査していただいて、府内会議等を経て、具体的に計画を実施していくということで、計画に盛り込むことについて

	<p>は、了承いただけるか。</p> <p>—委員了承—</p> <p>—広報情報課退席、休憩—</p>
会長	<p>広報情報課の事業追加の件は了承が得られましたので、協議事項を戻します。</p> <p>改訂箇所を示した資料をもとに進める。</p> <p>インデックスを付けたことについてはどうか。</p> <p>—その他意見、質問なし—</p>
会長	<p>実施計画中の各事業に掲載していた「新型コロナウイルス感染症対策」を削除し、「第4章のこれまでの取組と課題」に第5節を設け、「新型コロナウイルス等の感染症対策」として、まとめて掲載したことについてはどうか。</p> <p>—その他意見、質問なし—</p>
会長	語句の整理を行ったことについてはどうか。
H 委員	成果を示す指標のところで、第一次計画の実績や結果は、示したほうがいいのではないか。
事務局	令和2年度が前の計画の最終年度に当たるので、その数値が実績となる。
H 委員	説明されて初めて分かった。この標記だけでは分からぬので、言葉足らずであると思う。
事務局	意見を踏まえ、解説を入れるなり、分かるような方法を検討する。
E 委員	若者プロジェクトチームの部分で、延べ参加者数はあるが、指標としては若者の数を見ていこうというものだと考える。 なので若者の参加者数のような記載のほうがいいのではないか。

	<p>一事務局了承一</p>
会長	<p>ページを追加し、推進委員会の名簿や検討の経過を追加したことについてはどうか。</p>
	<p>－その他意見、質問なし－</p>
会長	<p>この改訂版は、今後府内会議やパブリックコメントを経て策定となる。</p>
E 委員	<p>協働のまちづくりに関する情報発信の充実というところで、33ページの協働専用情報発信ツールの運用という部分では、関係部署に広報情報課を追加したほうがいいのではないか。</p> <p>事務局で検討いただきたい。</p>
	<p>一事務局了承一</p>
会長	<p>どうしてもこの場で議論しておきたいことはあるか。</p>
A 委員	<p>素朴な疑問だが、今回話し合った計画の上に更に大きな計画があるという部分の周知は必要ないのか。</p> <p>総合計画を知った上で、この会議は議論しなければいけないと疑問を持った。</p>
事務局	<p>市としては、様々な計画を立てている。総合計画は富里市の将来像を描く一番大きな計画。その他にも分野ごとに計画が存在する。</p> <p>この会議のように市民の方に来てもらう会議もあれば、市の職員だけのものもある。全てにおいて皆さんに関わってくるものでもない。会議をお知らせすることはできるが、ホームページでも計画ごとに掲載されている。気になる部分があれば御覧いただければと思う。</p>
B 委員	<p>協働のまちづくりというテーマで集められているが、どこまで関わられるのか、どこまで意見が言えるのか。</p>
H 委員	<p>全体の概略がわかった上で、その中のどこの部分について、やつ</p>

	てくれと示されていれば、会議の進め方なども違ってくるのではないか。
会長	会議の整備という部分は事務局に検討いただく。
B 委員	会議のゴールは明確にし、委員が共有できるようにするべきではないか。
会長	ゴールとしては資料の中にあるように、事務局から示されていると思う。
D 委員	総括意見というものが毎年出されている。 その中では過去の委員から、色々な意見が出されている。 そういうもののを見てみて、推進委員会とは何か考え、この会議に参加したほうがいいのではないか。
会長	この推進委員会は年度の総括を、市民に報告し、市長へも報告する。同じことを繰り返してるのでという意見もあったが、それは解決していないから、意見として出している。 行政も様々な事情があって、取りかかれない部分もあるかと思う。委員として携わって思うのは、他市町村と比べても、市民活動推進課は一生懸命やってくれている。 富里市の委員になるには、資格など必要ない。他市ではそうではないところもある。 条例を作った先輩方は、誰もが意見を言えるようにして、市民がやりたいことを実現できるようなまちにしようという思いで作ったと思う。我々は、その思いを尊重して、市民活動や協働のまちづくりを推進し、市民活動団体を応援する立場もある。
C 委員	熱い思いを持って参加している委員が多い。だが委員会として決められたことはこなさなければいけないし、議題は消化しなければいけない。活発な議論はするほうがいいので、有志により別日でやるとか、会議後にやるとかを考えればいい。 このように積極的に意見を出してくれる方が多いので、その意見を大事にするためにどうするべきか考えたほうがいい。 議論したいテーマがあるなら出してもらって、それを議題にする

	かは判断してもらつたらいい。
事務局	<p>進捗状況と総括意見については過去のものを配布しているので、再度確認をお願いしたい。</p> <p>最上位計画である総合計画については、現在パブリックコメントを実施している。市民の皆様からの計画に対する意見等を募集している。ホームページで公開のほか、企画課、サポートセンター、日吉台出張所には配架されているので、御覧いただき、御意見があれば出していただければと思う。</p> <p>ーその他意見、質問なしー</p>
会長	<p>(2) その他</p> <p>それでは(2)その他について、委員の皆様から何かござりますか。</p> <p>ーその他意見、質問なしー</p>
会長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、進行を事務局へお返しいたします。</p> <p>御協力ありがとうございました。</p>
事務局	<p>次第4 その他</p> <p>(1) 実施事業について</p> <p>【とみさぽニュースレターVol.22について】</p> <p>【とみさと協働塾について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知つておきたいNPOの基礎知識 ・ステップアップセミナー <p>【とみさと市民活動フェスタについて】</p> <p>【市民活動感謝状贈呈制度について】</p> <p>【ちい寄附の報告について】</p> <p>ー以上を事務局より説明ー</p> <p>それでは、事務局からの説明について、質疑などございましたら、お願いします。</p>

会長	感謝状贈呈にかかる審査については、次回の委員会で行い、受賞者の決定をする。委員は御承知おきください。
A 委員	政治家や市議会議員は対象になるのか。
事務局	市の定例表彰のほうでの推薦になるかと思う。 —その他意見、質問なし—
事務局	(2) とみさと市民活動サポートセンターについて 【とみさと市民活動サポートセンターの利用状況について (報告)】 —実績表により説明— 【相談・問い合わせ対応記録一覧について (報告)】 —資料により一部抜粋し、説明—
事務局	それでは、事務局からの説明について質疑などございましたら、 お願いします。 —その他意見、質問なし—
事務局	(3) その他 委員の皆様から何かございますでしょうか。 —その他意見、質問なし— —事務局より次回開催日の説明— (閉会)